

# 詩界

第267号

目次

題字 土屋竹雨  
表紙絵 福沢一郎

特集 日本の現代詩の課題——七〇年その先へ

現代詩の在るべき近未来を透視する 岡 隆夫 4

狂暴な詩を、愉快な詩を、孤独な詩を…… 清岳 こう 8

地域の詩人に光を——津坂治男の詩 阿部 堅磐 12

未来の人々に届く詩を！——私の詩の人生を振り返って—— 岡崎 葉 16

詩とは何か 室井 大和 20

読者の喪失 ——伝える努力をあきらめない 島 秀生 25

生を遂げる詩語 岡野 絵里子 29

戦後詩界の二重構造化 古賀 博文 32

いのち  
生命の危機と知性 ——修辭的と言われる、詩の現況を前にして 佐久間 隆史 36



新しい「詩的共同体」の創造 原子 修 41

詩史の見直しを大胆に―私たちの課題として 杉谷 昭人 45

愛知大会講演（2019年5月）

詩におけるエロティシズム断想 北川 透 50

国際交流2019

アンバル・パストさんをお迎えして

アンバル・パスト詩集の衝撃 細野豊訳『アンバル・パスト詩集』 太原 千佳子 57

例会講演（2019年9月）

ネオ・リアリズム発祥の地層を求めて 高橋 次夫 61

詩を書くようになって 川井 麻希 65

詩をどう読むか―パウル・ツェランと金時鐘をめぐって 細見 和之 69

例会講演（2019年11月）

「引揚詩」の収集記録から思うこと 岡 耕秋 73

母が語ってくれたこと 柳生 じゅん子 77

〈戦後〉からの出発と訣別 谷口 ちかえ 79

例会講演（2019年12月）

奇岩・奇石の詩的風景…文化地質学の視点から 若宮 明彦 86

詩界アンケート

「詩を書き始めた人に私が伝えたい言葉」 91

星雅彦／司茜／北原千代／水野ひかる／高岡修／なんば・みちこ／石倉宙矢／  
林嗣夫／堀江泰壽／前原正治／小笠原茂介／金子秀夫／香山雅代／末原正彦／  
伊藤阿二子／犬飼愛生／川上明日夫／酒井力／安森ソノ子／伊藤恵理美／  
梁瀬重雄／清水恵子／関和代／中井ひさ子

詩界フォーラム

詩の評論・研究書・評伝・詩集翻訳書・エッセイ集 94

会員刊行詩集 99

会員編集発行詩誌 102

「新しい詩の声」／日本詩人クラブ三賞 56

日本詩人クラブ講演一覽 85

70周年記念事業 90

編集後記 106